

2016年度 新潟本社の取り組み状況について

2016年8月26日

東京電力ホールディングス株式会社

新潟本社

目 次

1. 2016年度 新潟本社の主な取り組み
2. 2016年度 新潟本社の活動状況
 - ・東京電力コミュニケーションブース
 - ・地域の皆さまへの説明会
 - ・トークサロン
 - ・広告
 - ・自治体避難計画の充実に向けた支援
 - ・地域活動への参加

1. 2016年度 新潟本社の主な取組み

- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域をはじめ、新潟県にお住まいの皆さまに対して、柏崎刈羽原子力発電所で講じている安全対策や当社の取り組み状況に関する広報・広聴活動などを実施。

主な具体的実施事項

項目	内容
1. 東京電力コミュニケーションブースの設置	上越・中越・下越地域それぞれに「東京電力コミュニケーションブース」を開設し、当社社員がパネル等を使ってご説明するとともに、皆さまのご質問や疑問におこたえしていく 放射線測定や電気の仕組みを体験できるコーナーを設置
2. 地域の皆さまへの説明会	発電所立地地域の皆さまを対象とした説明会を柏崎市・刈羽村で定期的開催
3. トークサロン	柏崎刈羽原子力発電所立地地域のPR施設において、当社女性社員を交えた「トークサロン」を開催
4. 広告	「発電所で働く人」にフォーカスした広告を実施し、当社社員の思いや姿勢をお伝えする広報活動を展開
5. 自治体避難計画の充実に向けた支援	PAZ・UPZ圏内自治体の避難計画の充実に向けた支援 原子力災害時の住民避難支援方策の具現化
6. 地域活動への参加	新潟県内の各種ボランティア活動に継続して参加

実施内容

- 新潟県にお住まいの皆さまのご不安や疑問におこたえし、一人でも多くの方々に柏崎刈羽原子力発電所の安全対策や当社の取り組みをご紹介するため、柏崎刈羽原子力発電所のUPZ圏内の小千谷市において、初めて「東京電力コミュニケーションブース」を開設。
- 当社信濃川電力所が所在する小千谷市のブースでは、水力発電模型や水力発電施設の紹介パネル等も展示し、信濃川電力所の水力発電に関する取り組みについてもご説明を実施。

開催実績

- 小千谷市
 開催日:2016年7月14日～25日(12日間)
 開催場所:小千谷市総合体育館 大会議室
 来場者数:258名

開催案内

- 現在、新潟市内で開設中(8月19日～28日)
- 2016年9月には長岡市と上越市に開設予定(長岡市:9/10～9/18、上越市:9/20～27)
- ※詳細は資料1をご参照ください



コミュニケーションブースでのご説明状況



ご案内チラシ(小千谷市)

2. 2016年度 新潟本社の活動状況(地域の皆さまへの説明会)

- 柏崎刈羽原子力発電所の安全対策や当社の取り組み等について、映像やアニメーションなどを活用し、発電所立地地域の柏崎市や刈羽村にお住まいの皆さまに分かり易くご説明する。
- 今年度も引き続き、柏崎市、刈羽村において、柏崎刈羽原子力発電所の状況などをお伝えする「地域の皆さまへの説明会」を開催予定。

2016年度の開催予定

【柏崎会場】

日 時: 2016年9月13日(火)

18:00~20:50(17:30 開場)

場 所: 柏崎市市民プラザ(波のホール)

【刈羽会場】

日 時: 2016年9月14日(水)

18:00~20:50(17:30 開場)

場 所: 刈羽村 高町地区集会場(アリーナ)

【内 容】

- ・柏崎刈羽原子力発電所6・7号機の適合性審査の状況について
- ・地域の皆さまからの質疑



地域の皆さまへの説明会の様子(2015年度)

2. 2016年度 新潟本社の活動状況(トークサロン)

- 柏崎刈羽原子力発電所の立地地域にお住まいの女性や子育てをされている方々を対象に、発電所の安全対策見学会・カルチャー教室・トークサロンを組み合わせ、立地地域の皆さまと当社女性社員を中心に対話活動を実施。

実績

- 実施期間: 2016年6月19日(日)・20日(月)2日間
- 実施場所: 柏崎刈羽原子力発電所ビジターズハウス
- 実施内容
 - ・柏崎刈羽原子力発電所安全対策見学会
 - ・カルチャー教室(ハンガープランツ作り)
 - ・トークサロン
- 参加者数: 18名

主なご意見等

- CM等を通じて、発電所の情報をたくさん発信してほしい。
- 「福島第一原子力事故の検証が済んでいない」と言っている人がいるが、福島と柏崎は別で考えるべきかと思う。
- 自然災害に対応するには、これで良いという事はないと思うので、考えられるあらゆることに安全対策を実施すべき。



トークサロン



カルチャー教室



発電所概要説明

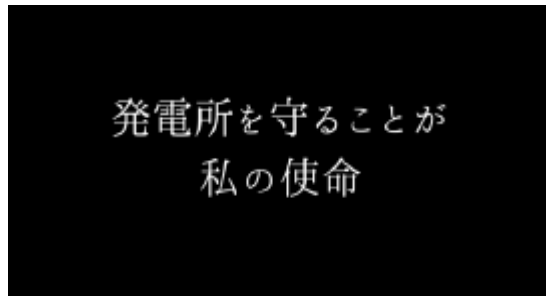
2. 2016年度 新潟本社の活動状況(広告)

- 福島第一原子力発電所事故の反省と教訓を踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所で取り組んでいる安全対策や当社の取り組みを新潟県内の一人でも多くの皆さまにお伝えするため、テレビ・ラジオCMや新聞・雑誌広告などマス媒体を通じた広報を実施。

実施内容

○テレビ・ラジオCM

- ・2016年5月より、『一人ひとりの決意編』を放映し、当社社員一人ひとりの安全性向上への思いや決意をご紹介します



TVCM「一人ひとりの決意編」より



○新聞・雑誌広告

- ・柏崎刈羽原子力発電所サービスホールでのイベントや放射線の仕組みなどをご紹介しますとともに、テレビCMと連動した当社社員一人ひとりの安全性向上への思いや決意を掲載

新聞広告「私たちの思い」

2. 2016年度 新潟本社の活動状況（避難計画の充実に向けた支援）

- 新潟県および県内自治体の避難計画の充実に向けて、原子力事業者としてできる限りの支援を実施。
- 原子力災害発生時の地域住民の避難支援の具体化に向けて、立地地域自治体をはじめ、関係機関等と協調しながら検討を推進。

実施内容

□ 避難計画の充実に向けた活動

- ・内閣府主催の柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会（2016年4月、6月）に、オブザーバーとして出席。原子力事業者の立場から新潟県の避難計画充実に向けた検討に参加
- ・新潟県広域避難検討WTの検討会（2016年7月）に参加し、県および市町村が抱える課題や検討状況について関係者間で情報共有

□ 地域住民の避難支援の具体化に向けた活動

- ・「市町村による原子力安全対策に関する研究会」による「原子力防災に関するサマースクール」（2016年7月）に参加。PAZ・UPZ自治体をはじめ、内閣府、県、警察が参加した広域避難に関するグループワークで、情報の流れや避難方法・経路等について意見交換
- ・住民の皆さまの避難に必要な「バスまたは福祉車両の配備や運転手の確保」「スクリーニング要員や資機材の確保」等、引き続き、原子力事業者としてできる限りの支援策を検討

(参考:地域活動への参加 1/2)

○クリーンナップ上越2016への参加

- ・実施日:2016年4月17日(日)
- ・作業内容:上越高田観桜会の会場清掃
- ・参加者:新潟本部社員 計10名

○柏崎市えんま市会場早朝清掃への参加

- ・実施日:2016年6月15日(水)、16日(木)
- ・作業内容:片づけ・会場清掃
- ・参加者:柏崎刈羽原子力発電所社員 計45名

○湯沢みどりの会ブナ植樹会

- ・実施日:2016年6月20日(月)
- ・作業内容:小学生の植樹のお手伝い
- ・参加者:信濃川電力所社員 計5名

○大湊海岸清掃活動

- ・実施日:2016年6月21日(火)
- ・作業内容:海岸清掃
- ・参加者:柏崎刈羽原子力発電所社員・協力企業社員 計120名



(参考:地域活動への参加 2/2)

○津南町中津川運動公園草刈り

- ・実施日:2016年7月6(水)
- ・作業内容:中津川に隣接する運動公園の草刈り
- ・参加者:信濃川電力所社員 計16名

○小千谷さつき工房ふれあいまつり

- ・実施日:2016年7月22(金)
- ・作業内容:会場設営、片付け、駐車場誘導
- ・参加者:信濃川電力所社員 計3名

○ぎおん柏崎まつり花火大会翌朝の海岸清掃活動

- ・実施日:2016年7月27(水)
- ・作業内容:会場清掃
- ・参加者:柏崎刈羽原子力発電所社員・協力企業社員 計57名

○荒浜町内会奉仕活動

- ・実施日:2016年7月30日(土)
- ・作業内容:荒浜町内、国道352線歩道縁石草取り・清掃活動
- ・参加者:柏崎刈羽原子力発電所社員 計5名

